ふるさとの復興を考える取組

学校名 岡田小学校 氏名 伊藤 美穂

小学校 $1 \cdot 2 \cdot 3$ 年版 **単元名** ふるさとを元気に 自分たちにできること $P18\sim19$

教科·領域名 学級活動 時間 4.5分

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

【ねらい】

- ・復興に向け行動している人々の姿を見て感じたことをもとに、今自分にできることを考える。
- 1 自分の学校や地域のよいところ、仙台についてしっていることを考えさせる。

【児童の反応】

<学校>・あいさつがいい・オアシス言葉・みんな仲良し・緑がいっぱい・先生がやさしい <地域>ボランティアさんがいる・自然がいっぱい・お米や野菜がおいしい・大人がみんな親切 <仙台>・緑が豊か・七夕祭りなどのイベントがある・募金などをしてくれる・人が温かい

- * ワークシートに記入しながら考えさせた。
- 2 副読本をもとに、たくさんの人々がふるさとの復 興のために活動していることを知る。

【児童に伝えたこと】

- ・学校、地域、仙台はわたしたちの「ふるさと」であること。
- ・ふるさとを復興させるために、大人も子供もさまざまな活動をしているということ。
- * 副読本の写真に加え、学校の復興プロジェクトの 様子をパワーポイントで提示した。
- 3 自分たちにできることを考える。

【児童の反応】

- あいさつを大きな声でする。
- ごみひろいを進んで行う。
- ・復興イベントに進んで参加する。
- ・運動会や学芸会,マラソン大会などで,地域の 人にがんばる姿を見せる。
- ・毎日の勉強をがんばる。
- 友達に優しくする。
- ・支援してくれた人たちに感謝の手紙を書く。
- * ワークシートに記入しながら考えさせた。
- * グループで自分が考えたことを話し合い,その後 発表させながら全体で共有した。

【準備物】

- パワーポイント・パソコン・大型テレビ
- ・副読本・ワークシート



【児童の感想から】

- ぼうさいの学習で、学校のいいところ、地域のいいところ、仙台のいいところなどがいっぱい分かって、「すごくいいまちだなあ」と思いました。
- ふっこうするのは大変なことなんだ なとあらためて思いました。みんなが いっしょうけんめい働いたから、こん なにきれいな岡田にもどったんだと 思います。
- 今日は、ふるさとのいいところが分かりました。わたしには何ができるかをあらためて思いました。
- じゅぎょうをして、わたしたちができることはたくさんあることが分かりました。これからはできることをどんどんやっていこうと思っています。